



南伸ばり

長岡市立南中学校
平成二十三年度
九月 号
九月二十日



吹奏楽部、西関東大会への道

校長 長谷川 浩司

吹奏楽部が西関東大会「Aの部」に出場した快挙を振り返ります。

一 中編成の「Bの部」から大編成の「Aの部」へ

吹奏楽コンクールには五十人以下編成の「Aの部」と三十五人以下編成の「Bの部」とがあります。今年度より「Bの部」が三十人以下編成に変わることがわかっていたので、南中学校は昨年からの『今年度から「Aの部」に出場する。』と、決めていました。
「Aの部」は、編成人数が多くなるほかに、演奏曲目も二曲に増えます。単純に言えば、今までの二倍の練習が必要になります。南中吹奏楽部の挑戦は、昨年から始まりました。

二 県大会で金賞、選抜大会で西関東出場を決める

十分な練習を積んで迎えた県大会当日は、豪雨のため柿川の水が道路に溢れました。出発時刻が一時間以上も遅れました。さらに、高速道路の柏崎・米山間でも通行止めがあり、一般道を通って上越会場にたどり着いたのが十時五十分。午前最後に予定されていた演奏を午後最初の演奏にしたいという演奏となりました。慌ただしい中での演奏、でも金賞を獲得しました。

県大会で金賞を獲得した十二か校が参加しての選抜大会で、上位五か校に入り、西関東大会出場を決めました。

三 西関東大会終了後の部長の挨拶

吹奏楽部は、普段の練習の他に、運動会での演奏とその他の準備、西関東大会に出場する市内中学校吹奏楽部との合同練習会、西関東大会での宿泊に備えた「東泉閣合宿」などをこなして、九月四日、所沢市民文化センターで立派な演奏を披露しました。

閉会式終了後演奏会場の外に集合した部員を前にして、部長が話しました。顧問の佐藤先生への感謝、応援に駆けつけてくださった保護者へのお礼、懸命に練習に励んでくれた部員へのねぎらい。そして、最高の仲間にお礼を言わせていただきました。周りの十人ほどの部員も同様のことを言わせていただきました。素晴らしい吹奏楽部でした。

夏休み明けの初日に、県大会以上の凱旋式を行いました。どの部の部長も、自分たちは精一杯練習を積んで大会に臨んだこと、保護者・地域からの応援と先生方の指導への感謝、後輩に託す夢を語ってくれました。

